

深さは約八〇㍉である。木簡のほかには、九世紀前半頃の土師器・須恵器、曲物、用途不明の木製品などが出土している。

なお、今回の調査では、ほかに漆紙文書が一点出土している。出土遺構は東一南五区の溝S-D四六九四で、両面に文字が認められるが、漆の付着が激しく、現在解読中である。

8 木簡の釈文・内容

(1) □升一升大弟又□三升子弟□□ 210×(18)×8 065
〔給カ〕

単位に升を用いる物品の支給に関わる断簡である。左辺は割損するが、右辺下半には切り、上端には削りなどの一次的な整形が加えられており、木簡としての使用後に別の木製品に転用されてくる。なお、木簡の釈読については、東北大学の今泉隆雄氏の「教示を得た。

(齊藤 篤、吉野 武(宮城県多賀城跡調査研究所))



木簡研究 第二五号

卷頭言—木簡を観る—
一一〇〇一年出土の木簡

平川 南

概要 平城宮跡 平城京跡右京一条三坊三坪 西大寺旧境内 興福寺
一乘院跡 藤原宮跡 藤原京跡左京七条一坊 藤原京跡右京一条一坊
藤原京跡右京六・七条四坊 飛鳥京跡苑池遺構 酒船石遺跡 坂田寺
跡 長岡京跡 平安京跡右京三条一坊六町 東寺(教王護国寺)旧境
内 中之島六丁目所在遺跡 長原遺跡 西ノ辻遺跡 鬼虎川遺跡 中
野遺跡 讀良郡条里遺跡 三原石田遺跡 中林・中道遺跡 貞養院遺
跡 上橋下遺跡 中村遺跡 箱根田遺跡 五合樹遺跡(仏法寺跡) 中
下宅部遺跡 騎西城跡 騎西城武家敷跡 大慈恩寺遺跡 羽黒遺跡
野路岡田遺跡 西河原遺跡 西河原宮ノ内遺跡 三堂遺跡 弥勒寺西
遺跡 松本城下町跡中町 薬師遺跡 佐野城(春日岡城)跡 泉磨寺
跡 仙台城跡(二の丸北方武家屋敷地区) 大古町遺跡 市川橋遺跡
志羅山遺跡 中尊寺境内大池跡 藩校明徳館跡 新城平岡(四)遺跡
石盛遺跡 畠田・寺中遺跡 中屋サワ遺跡 南新保北遺跡 下沖北遺
跡 浦廻遺跡 草野遺跡 屋敷遺跡 青木遺跡 黄幡一号遺跡 延行
条里遺跡 浜ノ町遺跡 新藏町三丁目遺跡 常三島遺跡 守護町勝瑞
遺跡 南江戸闔門遺跡 別府遺跡 朽網南塚遺跡 下月隈C遺跡群
高畑遺跡 元岡・桑原遺跡群

一九七七年以前出土の木簡(二)五)坂田寺跡
釈文の訂正と追加(六)

志賀公園遺跡(第二四号) 元岡・桑原遺跡群(第二二号)
中世木札文書研究の現状と課題 田良島 哲
長登銅山遺跡出土の銅付札木簡に関する一試論 畑中 彩子
古代荷札木簡の平面形態に関する考察 友田那々美
書評 富谷至編「辺境出土木簡の研究」 高村 武幸

頒価 五〇〇〇円 送料六〇〇円